

一中だより

令和7年11月1日

第7号



作成者：荒川区立第一中学校長 小柴 憲一

「副籍制度」と「交流及び共同学習」

国では平成14年12月に閣議決定された「障害者基本計画」に基づき、平成16年6月には「障害者基本法」を改正し、教育については「障害のある児童及び生徒と障害のない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならない」と示されました。

そして東京都教育委員会では、平成16年11月に策定した「東京都特別支援教育推進計画第一次実施計画」の基本理念に、「発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒の一人一人の能力を最大限に伸長するため、乳幼児期から学校卒業後までのライフステージを見通した多様な教育を展開し、社会自立を図ることのできる力や地域の一員として生きていける力を培い、共生社会の実現に寄与する」ことを掲げました。

この基本理念の具現化に向けた施策の一つが「副籍制度」です。

それまでも、東京都教育委員会では昭和63年度より「心身障害児理解教育推進事業」の中の「学校間交流」として、当時の都立盲・ろう・養護学校と幼稚園、小・中学校、高等学校との交流を積極的に進めてきましたが、スクールバスや公共交通機関を利用して通学する児童・生徒にとっては居住する地域とは離れた学校との交流となってしまう、「学齢期において地域との関係が希薄になりがちである」との指摘がありました。

居住地と離れた特別支援学校に通学する児童・生徒等は、その居住地で生活をしており、その居住地で社会進出することも考えられます。つまり、居住地の同世代との交流や地域との交流は将来的に見たとき、教育的意義は大きいのです。

そこで、東京都教育委員会では平成16年9月に「居住地校交流」として、都立盲・ろう・養護学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、障がいの状態に応じて居住する地域の区市町村立小・中学校において交流活動を実施し、経験の拡大や社会性の育成を目指すこととなり、これが「副籍制度」の前身となり、平成19年4月から全都において「副籍制度」を本格導入しました。

「副籍制度」とは都立特別支援学校に在籍する児童・生徒が居住する地域の区市町村立小・中学校に副次的な籍をもち、その地域指定校との交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図るものです。また、交流の方法には2種類があり、一つは「直接交流」といって、小・中学校の学校行事や学習活動への参加や地域行事における交流などを行い、もう一つは「間接交流」といって、学校だよりや学年だよりなどの交換を行うものです。

これら、「副籍制度」を利用するかどうか、また利用するとした場合「直接交流」にするか「間接交流」にするかは、すべて保護者の意向によるものです。

本校では、都立墨田特別支援学校に在籍する生徒で、2名は「直接交流」を希望しており、2名は「間接交流」を希望しており、1名が副次的な籍を置くことのみを希望しております。また、都立花畑学園に在籍する生徒1名が「間接交流」を希望しており、合計で6名の生徒が本校との副籍交流を利用しております。

本校校長室前の掲示板には、都立墨田特別支援学校の学校だより「すみだだより」、都立花畑学園の学校だより「すずかぜ」を掲示するとともに、交流を希望している生徒数名から送られてきた写真付きのプロフィールも掲示してあります。

また、直接交流では交流学級で教科の学習以外に給食と一緒に食べたりしており、間接交流では学校だよりの交換のほかに、3学期の展示会で作品展示をすることで交流を深める予定です。

一方、本校には特別支援学級6組がありますので、校内で1～6組の交流および共同学習も推進しております。

○運動会では、ダンスなどの表現活動を通常学級の子どもたちと一緒に練習し披露するとともに、選手種目や学年種目にも参加しています。

○専門委員会では学級委員会・生活委員会・美化委員会・保健給食委員会に参加するとともに、中央委員会にも参加して通常学級の子どもたちと協議し、活動しています。

○修学旅行では、一部行程を変えながらも同じ日程で関西方面を訪れています。

○学習発表会では、午後の部の最初に合唱を披露しています。

○6組に1～3組の子どもを招いたり、逆に1～3組に6組の子どもを招いたりして交流給食を実施しています

これらは一例ですが、これらの活動があるからこそ、例えば6組で陸上部に所属している子どもは、部活動中に通常学級の子どもと同じメニューで練習したり、廊下で会ったときに話していたりする姿に現れるのだと思います。また、朝礼などでも6組として列は編成しますが、通常学級の子どもたちと一体となって、生徒会組織を構成しているのです。

教育学者の一部は、カタカナ用語で「インクルーシブ教育」と盛んに発言している場面を見たり聞いたりすることがあります。しかし、そのカタカナ用語の教育を実現するための具体は、ここまで述べたように、社会的な理解と障がいのある子ども本人やその保護者の思いと願いの調和を図りながら進める繊細なものであり、これらの積み重ねがあるからこそ、子どもたちが障がいのあるなしにかかわらず、公正・公平な人間関係を構築していこうという姿勢や態度を身に付けていくことになると思います。

卒業生の皆様へ ー同窓会総会開催のご案内ー

荒川区立第一中学校同窓会につきまして、令和6年度卒業生より会費は徴収しないこととなりました。このたび、同窓会の今後の在り方並びに方向性を議題とした総会を以下のとおり開催することとなりましたので、お時間がございましたらご参集ください。

なお、この一中だよりの地域等への配布並びに本校ホームページ上に掲載することをもちまして、開催のご案内とさせていただきます。

- 1 日時 12月6日(土) 16:00～
- 2 場所 第一中学校多目的室(正門をお入りになって左側のアリーナ入口よりお入りください。)
- 3 議題 同窓会の今後の在り方並びに方向性
- 4 対象 第一中学校同窓会会員(第一中学校卒業生)
- 5 備考 卒業生であることが分かるもの、例えば在学当時の生徒手帳、卒業アルバム、卒業証書などをご持参いただき、受付にてご提示ください。

お知らせ

- 「第74回荒川区民スポーツ大会」バレーボール中学女子の部において、以下の成績を収めました。
準優勝 荒川一中 A
- 秋季新人大会バドミントンの部において、以下の成績を収めました。
第3位 女子団体 第3位 男子シングルス 脇田 柊
- 9月25日(木)に開催された「第77回荒川区立中学校連合体育大会」において、以下の子どもたちが入賞しました。
1年男子100m 第3位 田村 正輝(13秒14) 3年男子100m 第2位 吉川 悠誠(11秒84)
2・3年男子1500m 第6位 渡邊 柊太(5分0秒61)
2・3年男子3000m 第4位 渡邊 隼(10分25秒50)
共通男子走高跳 第5位 今井 裕也(1m40) 3年男子走幅跳 第3位 月尾 光志(5m38)
共通男子砲丸投 第2位 長尾 怜武(9m78)
1年男子4×100mR 第4位<岩田 凌駕・田村 正輝・西田 悠真・西村 陽輝>(53秒18)
3年男子4×100mR 第2位<国分 賢人・月尾 光志・吉川 悠誠・長尾 怜武>(47秒23)
1年女子100m 第1位 櫻井 音寧(14秒39) 2年女子100m 第4位 平 ひよ好(14秒31)
3年女子100m 第3位 小谷野 菜奈(14秒66) 1年女子800m 第5位 渡邊 萌衣(2分54秒12)
2・3年女子800m 第3位 林 幸来(2分50秒49) 共通女子走高跳 第4位 片野 悠花(1m24)
1・2年女子走幅跳 第6位 中村 夢萌(3m80) 3年女子走幅跳 第1位 小原 梨央南(4m53)
1年女子4×100mR 第4位<櫻井 音寧・石橋 明佳・片野 悠花・八柳 陽菜里>(59秒25)
- 10月11日(土)・12日(日)に開催された「第78回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会」において、以下の成績を収めました。
男子共通砲丸投決勝 第7位 長尾 怜武(10m83)
- 雨天の予報のため中止となりましたが、10月19日(日)に開催される予定だった「第36回南千住なかよしまつり」に、以下の子どもたちがボランティアに応募しました。
1年…三上 隼斗 2年…佐藤 さやね、羽佐田 依吹、亀井 琴音
3年…佐藤 心陽、畑山 章太郎、柳沼 光、吉田 悠乃
- 10月25日(土)に開催された「ハートフル運動会」に、以下の子どもたちがボランティアに応募しました。
1年…三上 隼斗、畝本 悠生、岡本 かむい 2年…二反田 友妃、中峰 華、塚越 栄之進、森 陽希
3年…太田 誉礼、位田 勇希、染谷 瑠唯
- 10月25日(土)に開催された「荒川なかまち商店会ハロウィンウォーク」に、以下の子どもたちがボランティアに応募しました。
1年…柴田 麻畝、大角 悠真、小澤 武流 2年…清水 花、竹野 鈴音、浅野 蓮、亀井 琴音
3年…佐藤 心陽、吉田 悠乃、服部 一翔、河城 華生、清水 真朱、吉田 蒼空
- 10月25日(土)に荒川東部在宅高齢者福祉サービス通所センターにおいて行われた「元気ハツラツ！一中ミニコンサート」及び10月26日(日)に荒川さつき会館において行われた「第35回荒川さつき会館まつり」において、本校吹奏楽部が演奏する予定でしたが顧問を含めて体調不良者が複数いたため辞退することとなりました。
- 10月26日(日)に開催された「荒川区消防団点検」に、以下の子どもたちがボランティアに応募しました。
3年…鴛澤 茜、月尾 光志、服部 一翔、小池 利奈、本郷 水緒
- 荒川納税貯蓄組合連合会主催の「税についての作文」において、以下の子どもたちが入賞しました。
荒川税務署長賞 3年 園部 結菜 「いのちをつなぐ税金」
荒川納税貯蓄組合連合会会長賞 3年 鈴木 ひとみ 「未来のための税金」
- 令和7年度荒川区文化祭「俳句展示会(小・中学生の部)」において、以下の子どもが入賞しました。
優秀賞 1年 島田 和奏 「炎天に アスファルトから 陽が跳ねる」
優秀賞 1年 シワール ファーチマ シャズナ 「七色の しぶき弾ける プールかな」
秀逸 3年 吉田 蒼空 「説教に 耳せんがわりの 蝉の声」
佳作 1年 鷲津 愛美 「ラムネびん 透かしてみれば なつのいろ」
【11月1日(土)～3日(月・祝)の期間、町屋文化センター 2階 ふれあい広場に展示されます】
- 10月23日(木)に開催された「第44回荒川区立中学校連合英語発表会」において、以下の子どもが入賞しました。
スピーチ部門 第3位 本郷 水緒 「From Prejudice To Kindness」